



HPアドレス <http://cms.miyazaki-c.ed.jp/4204/htdocs/>

立志式

2月16日(木)に立志式を行いました。東郷地区青少年育成協議会会長桑田守様をはじめ役員の方々の進行のもと、日南市教育委員会文化生涯学習課岡本武憲様、東郷地区自治会長藤本真也様をはじめ東郷地区自治会長のご臨席のもと、たくさんの保護者に見守られながら2年生40名が立志の誓いを立てました。

今回の講演は、トヨタ紡織陸上部監督榎木和貴氏をお迎えし「夢と目標のちがい」と題してお話をいただきました。

講演の前に、2年生一人一人が、24歳になった自分を想定して、その24歳の自分が14歳の今の自分へ語りかける場面がありました。すべての生徒たちが、今思い描く24歳の自分になっており、そのために14歳の今の自分へ「今努力しなさい」と語りかけていました。

右の歌詞の「生命がはばたくとき」も全員で力強く合唱をしてくれて、講師の榎木様はじめたくさんの来賓の方々、保護者の方々の感動を誘っていました。

今、14歳という節目の時に自分を見つめ直し、家族の思いを受け止め、高い志が立てられたのではないのでしょうか。人生において、どの方向に進むのか、舵を取るの自分しかいません。6年後、10年後に今の思いが大きくそれていないように、1日1日を大切にしていきましょう。

榎木和貴氏の講演「夢と目標のちがい」では、「夢見ていたものが手の届くところまで近づくと目標が変わり、目標は、具体的努力の道標となる。」「目標が決まれば、努力する苦しきは楽しさ変わる。」と激励していただきました。

何はともあれ、2年生の大きな成長を感じた立志式でした。

生物の進化は、劇的に現れたそうです。ヒトは、4つ足で歩いていた類人猿が、突然、2足歩行を始め飛躍的に大脳が発達します。

中学生にも同じことが言えるのではないのでしょうか。今、2年生をはじめ、東郷中学校全校生徒が、勉強に、部活動に、心の成長に良い結果が現れています。今が、劇的に飛躍(進化)する時ではないのでしょうか。



生命がはばたくとき

作詞 人見 敬子
作曲 西澤 健治

夢見ることは 生きる力
未来の日々を 信じること
明日から吹く風に 翼をひろげて
はばたこう 今
夕日追いかけて夜をこえて
本当の自分さがす
夢見るために 夢見るために
生まれてきた

愛することは 生きる光
確かな生命 感じること
心へとふる虹の 優しさの意味を
分け合おう 今
同じ空の下 心つくし
この時をともに歩む
愛するために 愛するために
生まれてきた

同じ空の下 心つくし
この時をともに歩む
愛するために 愛するために
生まれてきた

日南市総合学力調査結果の報告

12月8日（木）、9日（金）の2日間にわたって行われた日南市総合学力調査結果が以下のようにでましたので報告いたします。数字の比較のみで学力を判断するわけにはいきませんが、一つの判断材料にさせていただきたいと思えます。

《第1学年》

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
南那珂	71.1	67.3	60.4	64.3	67.6	330.7
日南市	71.4	67.8	60.1	66.2	67.9	333.4
東郷中	69.5	62.7	60.8	65.4	68.1	△326.5

《第2学年》

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
南那珂	69.8	63.9	64.9	55.8	64.9	319.3
日南市	68.5	63.4	64.2	58.0	64.0	318.1
東郷中	70.5	63.7	69.1	58.9	65.9	○328.1

《第3学年》

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
南那珂	70.9	61.1	63.7	61.9	72.6	330.2
日南市	71.0	60.7	64.2	63.9	73.9	333.7
東郷中	71.9	59.6	66.8	66.3	77.0	○341.6

総合学力調査は、定期テストとは違って長期記憶（テスト範囲が広いこと）を評価するのに適しています。従って、日々の着実な家庭学習の積み重ねが結果として表れるものと思えます。

一人一人のテスト結果が個表となって返ってきたことと思えます。家庭でもしっかり見ていただいて、今後の勉強に生かして欲しいと思えます。

以下が個表の見方です。

春休みには、1、2年生のためにこの日南市総合学力調査に付属した、復習プリントが10枚ありますので、宿題にしたいと思えます。それぞれの進級に対して、4月には2年生県学力調査、3年生全国学力調査がありますので、春休みにじっくり勉強してください。

保護者の皆さまへ

結果資料の見方

基礎・応用・観点別・領域別に、到達度と目標値を示しています。

◎教科に関する用語解説

項目	内容
基礎	これまでの学習で身につけておいてほしい内容です。
応用	これまでの学習で学んだことの発展的な内容です。
観点	学習指導要領に示された、学習の評価を行う場合の主な要素です。（各教科ごとに設定されています）
学習領域	学習指導要領に示された、学習内容に応じて設定した区分です。（各教科・各学年ごとに設定されています）
到達度	上記の項目ごとに、その分野の問題で、どのくらい正解できたかを、パーセントで表しています。
目標値	その分野の問題で、ここまで正解してほしいという目標を、パーセントで表しています。到達度を測る目安としてご参照ください。

◎個人票をもとにしたご家庭でのアドバイス

右の図をご覧ください。到達度と目標値の関係を表した図です。Aの達成度は目標値に達しており、Bの到達度は目標値に達していません。個人票に示される「マークは、図のAのように、お子さまの到達度がその分野の目標値に達したときに示されます。

【アドバイスの仕方について】

- ① がついている分野は目標に達していますので、お子さまのがんばりをほめて、この調子で進めるように、ほげましてあげてください。
- ② がついていない分野は、どうしてできなかったのかをお子さまと一緒に振り返り、理解をすすめる手助けをしてあげてください。